

教科名	技家	科目	家庭	週授業時間	1 時間
-----	----	----	----	-------	------

担当者名 為久 陽子

### 1. 教科書および副教材・参考書

技術・家庭（開隆堂）

家庭科ワークノート（地域教材社）

織物の基本フェルトコースター（ISEC）

ミニトートバッグ（ISEC）

### 2. 授業の目標および内容

生活に必要な基本的な知識と技術の習得を通して、家庭生活や社会生活との関わりについて理解を深め、習得した知識と技術を積極的に活用し、生活を工夫したり、創造したりする能力と、実践しようとする意欲的な態度を身につけられるように授業を進めていきます。

また、フェアトレードについての知識も学んでいきます。

- ① 衣服と社会生活との関わりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす活用を工夫できるようにします。
- ② 日常着の計画的な活用を考え、適切な選択ができるようにします。（ファストファッションについても理解していきます。）
- ③ 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができるようにします。
- ④ チョコレート（フェアトレード）について理解できる様にします。

### 3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次なし	二次あり	一次なし	二次あり	期末あり
学力試験	第 1 回	なし	第 2 回	なし	第 3 回 なし

### 4. 課題・補習について

特に無し

### 5. 評価の視点

#### 1 学期

- ① 平常点（授業に取り組む態度、忘れ物、プリント提出）：1～割
- ② 一次テスト：5～6割
- ③ 作品提出（三原組織）：3割

#### 2 学期

- ① 平常点（授業に取り組む態度、忘れ物）：1～2割
- ② 作品提出（ミニトートバッグ）：9～8割

3 学期

①平常点（授業に取り組む態度、忘れ物）：2～3割

②期末テスト：7～8割

\*各学期とも、作品での評価が主になります。提出期限に遅れたり、提出がない場合は、非常に悪い評価になりますので注意してください。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	自分らしく清潔に着る	日常着の活用 ・衣服の社会生活上の働きを知る。 ・個性を生かす着方を工夫する。  日常着の手入れ ・私たちの衣服の材料や織物のしくみを知る。 ・衣服の手入れや補修について知る。 ・既成服の、適切な選択ができるようにする。 手縫い練習（三原組織） ・玉結び、玉止め ・かがり縫い ・ブランケットステッチ	ワークノート       コースター
2	製作実習	ミニトートバッグの製作 ① 材料と用具の準備 ② 布を裁断する。 ③ 布を2つ折りにして両脇を縫う ④ 底を作る ⑤ 表に返して口を縫う ⑥ 名前やデザインを付ける。	ミニトートバッグ
3	フェアトレードについて    調理実習	チョコレートがどのようにして私たち届くのかを理解する。 ① チョコレートの種類 ② フェアトレードによる価格についてを理解する。 ③ チョコレート菓子（調理実習）	ガトーショコラ